

「カメラについでる取説って、実際はほとんど見ないんだよね」

「“こんな風に撮りたい!”っていうイメージはあるんだけど、
どうすればいいの？」

「写真と使い方がわかりやすく書いてある、フォトブックみたいなのが
あればいいのに」

私たちも普段感じていることだから、
ユーザーの皆さんも、そう感じているんじゃないかな。
自分たちで理解して、撮る・作る。
これなら伝わるかもしれない・・・。

doughnuts*¹のそんな思いからスタートしたのが、
この【トリセツ】*²です。

CX6 への「？」がひとつでも減って、
「！」が増えたらいいな～と思います。

CX6は、開発した皆さんの気持ちが詰まった、とてもいい道具です。
あなたにしか撮れない「いい写真」をたくさん撮ってください。
このカメラなら、きっと撮れます！

doughnuts【トリセツ】 チーム一同

*¹ doughnutsは、RING CUBEの運営をサポートするボランティアスタッフです。

*² 【トリセツ】は、CX4からスタートして今回で三冊目です。使い方の説明、作例写真、
デザイン等、doughnutsにより企画・制作されています。(監修:RING CUBE)

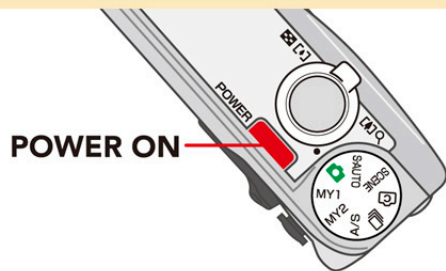
もっと

CX6

撮りたいをかなえる

トリセツ

使いこなして広げる写真表現



POWER ON

presented by



ドーナツは、リコーフォトギャラリー RING CUBEのサポートメンバーです。
企画・制作および作例写真の撮影に参加しています。

モードアイコン一覧

「撮る」から「思いのままに表現する」へ



シーンモード



クリエイティブ
モード



A/Sモード

A 絞り優先

S シャッタースピード優先



ポートレート



スポーツ



ダイナミックレンジ



夜景ポート
レート



ズームマクロ



ミニチュアライズ



連写モード



料理



マナー



ブリーチ バイパス



AF連写



ゴルフ連写



打ち上げ花火



ハイコントラスト白黒



連写



文字



ペット



ソフトフォーカス



M連写プラス (10M)



遠景



斜め補正



トイカメラ



M連写プラス (2M)



夜景マルチ
ショット



クロスプロセス



超高速連写 (Low)



超高速連写 (Hi)

被写体の明暗を細かく調整したい

露出補正の手順

日陰を明るく、青空をもっと濃く、
少しの調整でイメージ通りに



モードダイヤルをセット
(その他のモードでも設定可能)



ボタンを押す



を選択
露出補正



0.0



+0.7



ボタンを上下に
傾け最適と思う
数値を選び



を押し撮影へ

Point

ヒストグラムの動きで被写体の
明暗のバランスを読むことが
できます。



0.0



-0.7

小さな世界を撮りたい

広角マクロ撮影／最短撮影距離1cm

マクロで選ぶならCX6
数cmの違いが大きな差に。

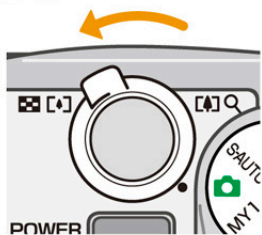


モードダイヤルをセット
(オート撮影モード)



ボタンを
側へ傾ける
(マクロをオン)

ズームレバーを
[A] (広角) 側に傾ける



Point 小さな世界は、少しのカメラ位置の変化で見え方が大きく変わります。
撮りたいポイントが、魅力的に見える位置を探ってみましょう。

マクロがオンの時は、花のマークと、どこまで被写体に近づけるかが表示されます。



広角マクロ



広角マクロ



広角マクロ

背景を美しくぼかして撮りたい

望遠マクロ撮影／ボケ

被写体と背景のバランス
気を配ると違いが出てきます。



モードダイヤルをセット
(オート撮影モード)



ボタンを
側へ傾ける
(マクロをオン)

ズームレバーを
[A] (望遠) 側に傾ける



Point カメラから被写体までの距離と
被写体から背景までの距離により、
ボケの感じが変わります。

ズーム量により、撮りたいものに
近づける距離が変わります。
どれぐらい近づけるかは、ココに
表示されます。(最短撮影距離表示)



望遠マクロ

フラッシュを効果的に使いたい

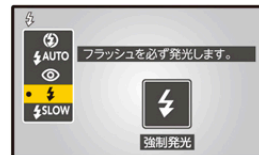
フラッシュ調光補正



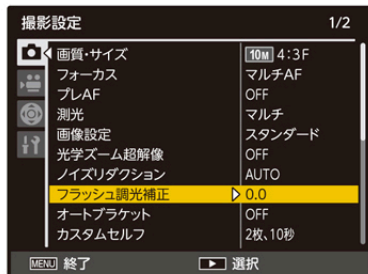
モードダイヤルをセット
(オート撮影モード)



ボタンを **⚡** 側へ傾ける
右の画面が表示されたら
「強制発光」を選択



MENU ボタンを押す



「フラッシュ調光補正」を選択し、ボタンを右へ。補正量を決め **ADJ. OK** を押し撮影へ

カメラ任せにしていたフラッシュを調整することで、思い通りの写真に近づけましょう。
立体感やアクセントを得るためのスパイス的な使用もオススメです！



0.0 (補正無し)



補正 -1.0

カメラとの距離が近すぎ白く飛んでしまった例。マイナス補正で適正に。



フラッシュ無し



補正+2.0

逆光の影響で平坦な印象の画面。強いフラッシュで立体感と奥行きを生む。

映画のワンシーンのように撮りたい

クリエイティブモード／ブリーチ バイパス

彩度を抑えた幻想的な仕上がり
記憶の中の風景のように。



モードダイヤルをセット
(クリエイティブモード)

MENU ボタンを押す



通常撮影



ブリーチバイパスを選択して ADJ. OK を押す

Point

右の画面の状態 で **[Fn]** ボタンを押すと、色調、コントラスト、周辺減光の調整画面へ移動します。色調は、ノーマル、暖色、寒色から選択できます。その場の雰囲気にあった色調を探してみましょう。

撮影しましょう



ブリーチ バイパス／色調：寒色、周辺減光：弱、コントラスト：MAX



ブリーチ バイパス／色調：暖色、周辺減光：強、コントラスト：MAX



ブリーチ バイパス／色調：暖色、周辺減光：OFF、コントラスト：-1

ミニチュア風に撮りたい

クリエイティブモード／ミニチュアライズ

高い場所へ登ったら
まずは、このモードです。



モードダイヤルをセット
(クリエイティブモード)

MENU ボタンを押す



ミニチュアライズを選択して ADJ. OK を押す



Point

撮影画面の状態です [Fn] ボタンを押すとピントの合う位置や範囲を調整することができます。



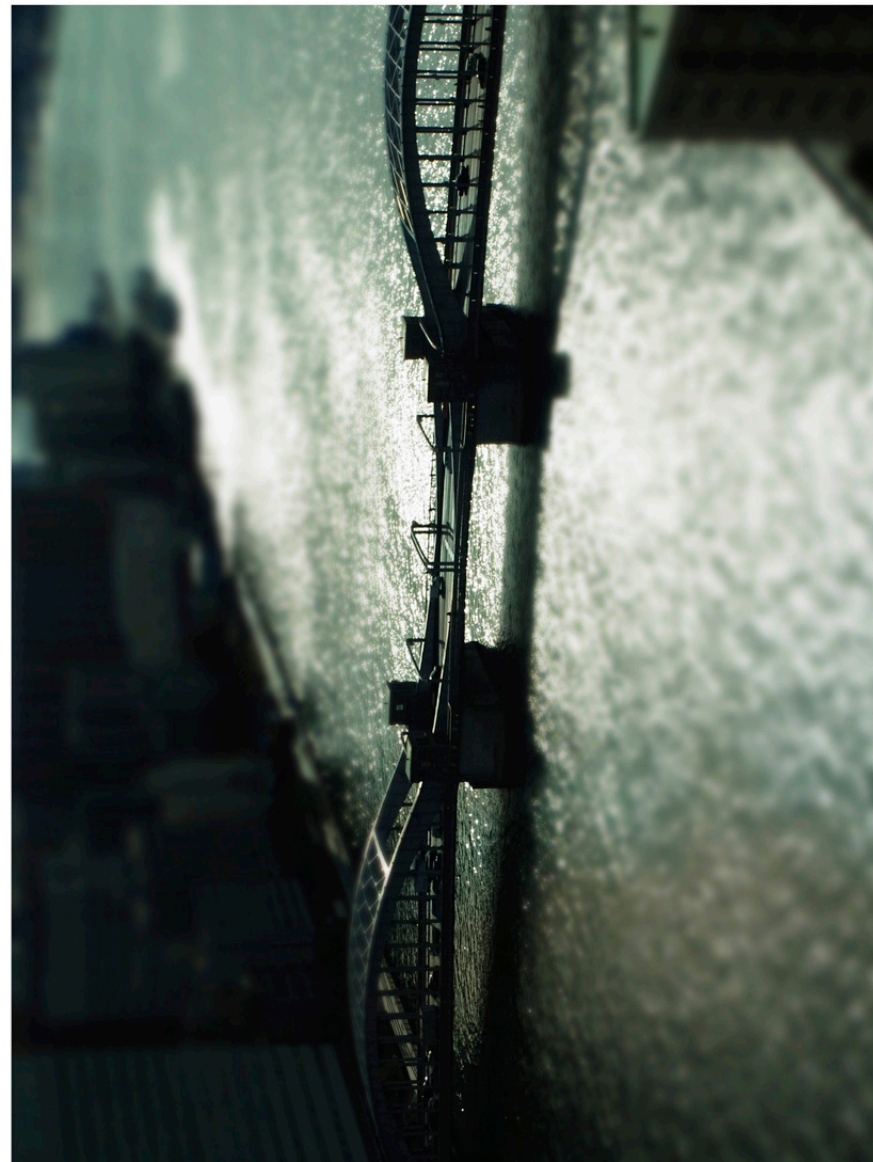
上下でピント位置の移動



左右でピント範囲の設定

高所からの撮影以外でも、ピントとボケの効果を利用した撮影もオススメです。

高い場所から
撮影しましょう



ミニチュアライズ

明暗差をバランスよく撮りたい

クリエイティブモード／ダイナミックレンジ

明暗の混在する風景
白トビ、黒ツブレを軽減



モードダイヤルをセット
(クリエイティブモード)

MENU ボタンを押す



DR拡大効果：強、優先範囲：シャドー



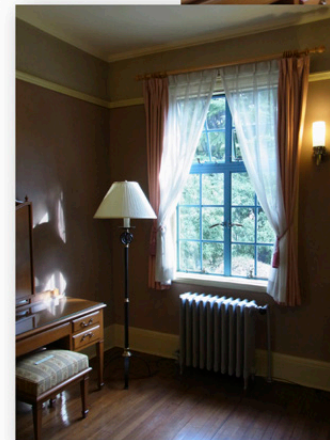
ダイナミックレンジを選択して (ADJ. OK) を押す ▶ 撮影しましょう

Point

右の画面の状態で [Fn] ボタンを押すと、ダイナミックレンジ拡大効果の設定画面へ移動します。AUTO、微弱、弱、中、強、さらにそれぞれの設定で、優先範囲をハイライト側にするか、シャドー側にするかの設定ができます。



DR拡大効果：強、優先範囲：シャドー



通常撮影

室内のシャドーを見えるようにするのか、ハイライトの外の風景を残すのか、自分が感じた雰囲気近づけましょう。

エッジの効いたモノクロを撮りたい

クリエイティブモード／ハイコントラスト白黒

トーンを排してザラリとした強い印象の写真に



モードダイヤルをセット
(クリエイティブモード)



MENU ボタンを押す

コントラスト: MAX、周辺減光: OFF

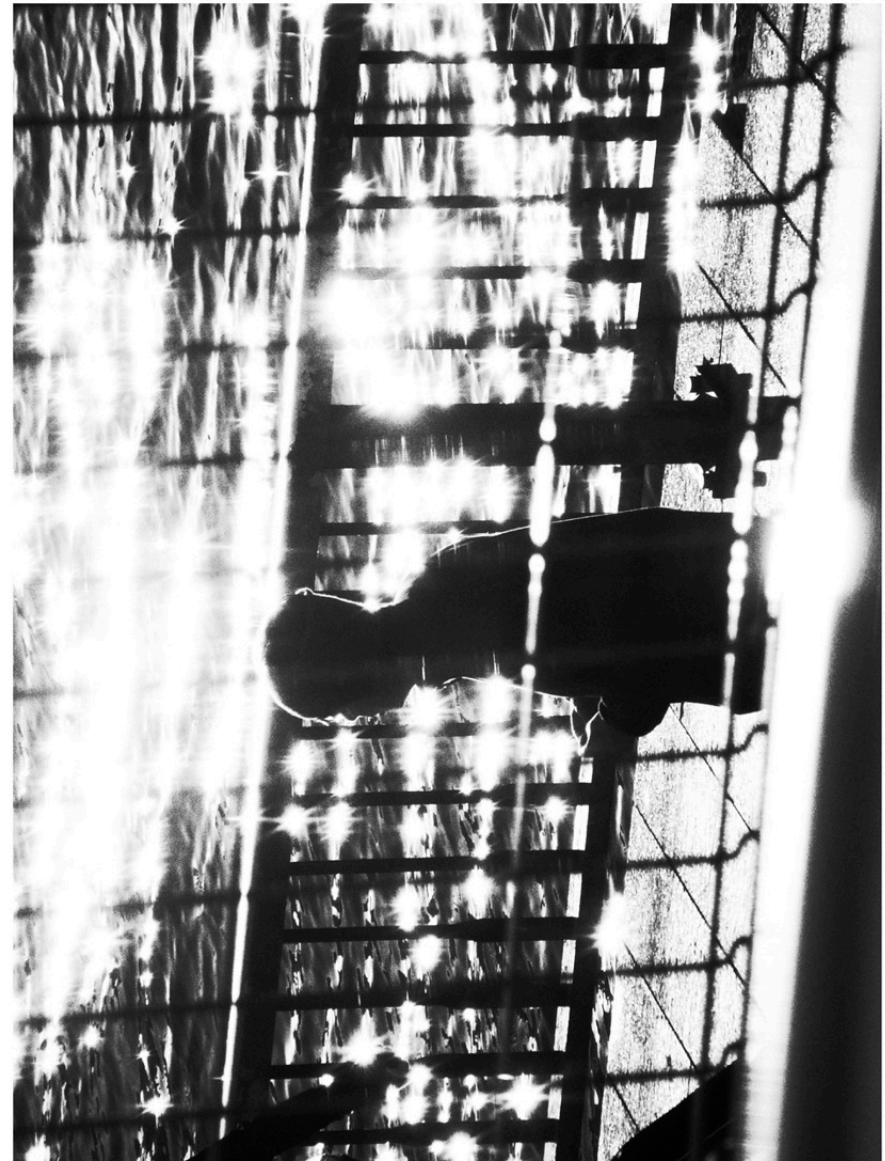


Point

右の画面の状態で **[Fn]** ボタンを押すと、コントラスト、周辺減光の設定画面へ移動します。
コントラスト、周辺減光の調整によって、よりダイナミックな作品に仕上げる事ができるでしょう。

ハイコントラスト白黒を選択して **ADJ. OK** を押す

撮影しましょう



周辺減光: 弱、コントラスト: MAX

トイカメラのように撮りたい

クリエイティブモード／トイカメラ

ボケたりビビッドになったり
不思議と魅力的な写真に



モードダイヤルをセット
(クリエイティブモード)

MENU ボタンを押す



周辺減光：強、トイカラー：ON



Point

右の画面の状態で **[Fn]** ボタンを
押すと、周辺減光、トイカラーの
設定画面へ移動します。
トイカラーをONにした撮影では、
派手な色合いの被写体を選ぶと
効果が際立ちます。

トイカメラを選択して **ADJ. OK** を押す

撮影しましょう



トイカメラ 周辺減光：強、トイカラー：ON

夜景を美しく撮りたい

シーンモード／夜景マルチショット

失敗少なくスマートに、手持ちで夜景を美しく撮影しましょう



モードダイヤルをセット
(シーンモード)

MENU ボタンを押す



夜景マルチショットを選択して (ADJ. OK) を押す

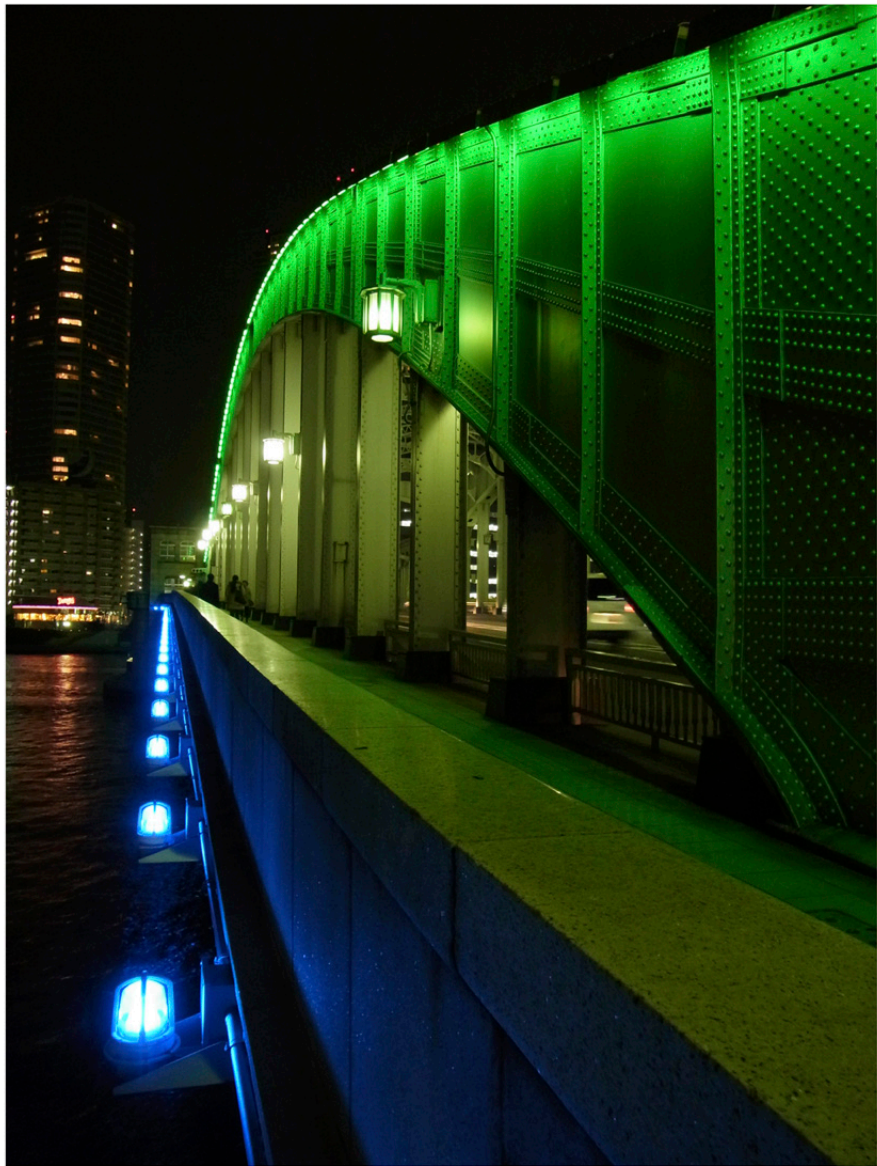
Point

4枚の静止画を連続撮影して合成するため、他のモード時と比べて撮影から保存までの時間が長くなります。

美しい夜景を
撮影しましょう



夜景マルチショット



夜景マルチショット



夜景マルチショット

夜景をバックに美しく撮りたい

シーンモード／夜景ポートレート

人物も美しい夜景も同時に残したい。天敵は「手ブレ」。



モードダイヤルをセット
(シーンモード)

MENU ボタンを押す



夜景ポートレートを選択して (ADJ. OK) を押す

Point

フラッシュの届く範囲は、広角で4m、望遠で3mです。
離れすぎると人物が暗くなってしまうので注意してください。
付近に体やカメラを固定できる壁等があったら活用しましょう。

夜景をバックに撮影しましょう



夜景ポートレート

料理をきれいに撮りたい

シーンモード／料理

食べる前にサッと撮影



モードダイヤルをセット
(シーンモード)



Point

店内の照明によって、料理の色合いが変わりますので、いちばん美味しそうに見える色を見つけてください。

MENU ボタンを押す



料理を選択する

ADJ. OK を押し撮影画面になったら



色合いと明るさを調整して
撮影しましょう

Fn ボタンを押す
(料理モード設定画面へ)

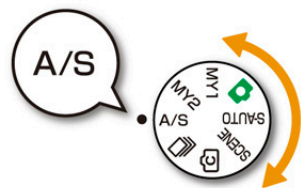


料理モード

時間の流れを美しく撮りたい

A/Sモード／シャッタースピード優先

新機能、シャッタースピード優先で時間を止める、流れを撮る。



モードダイヤルをセット
(A/Sモード)



1/2000秒

FN ボタンを押す

A が表示されている場合はもう一度
FN ボタンを押し **S** に切り替えます。

Point

シャッタースピードを長く設定した
場合には、三脚を使用しましょう。

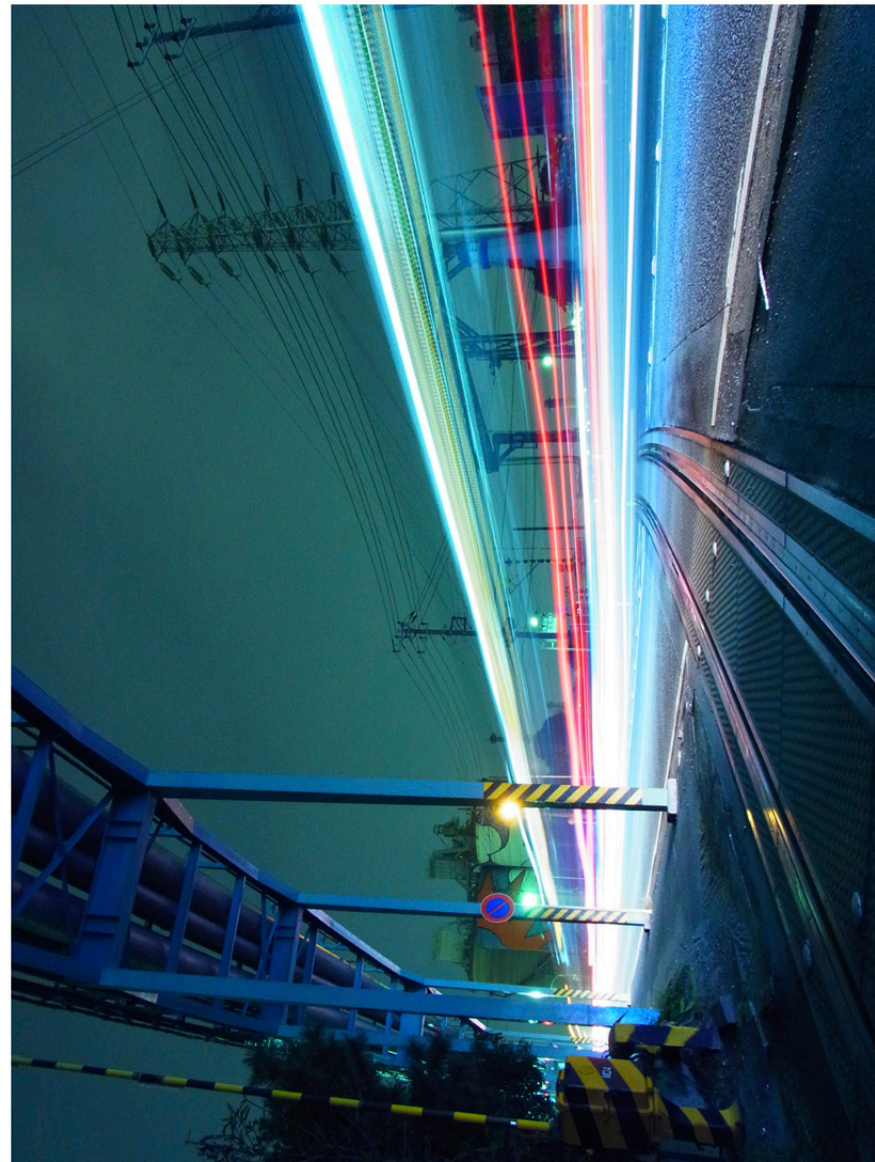


ボタンを上下に傾けて
シャッターのスピードを
設定します。



を押して撮影へ

※ **A** は絞り優先



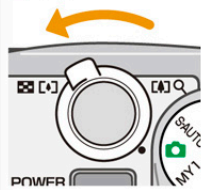
シャッタースピード：8秒

ズームを使って撮りたい

28-300mm 光学10.7倍、300-600mm デジタル21.4倍



ズームレバーを
[📷] (広角) 側に



28mm

300mm

ズームレバーを
[🔍] (望遠) 側に



600mm

いろいろな比率で撮影したい

画質・サイズ／3:2、1:1、16:9

被写体に合わせ比率を変える
映画やフィルムカメラのように



モードダイヤルをセット
(その他のモードでも設定可能)



1:1

ADJ.
OK ボタンを押す

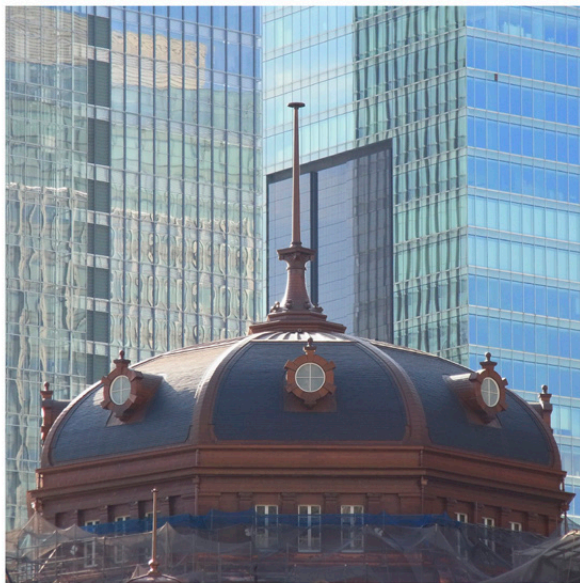
Point フィルムカメラの比率は3:2。
横長の16:9も風景写真などで
効果を発揮します。



ADJ.
OK を選択
画質
サイズ

ADJ.
OK を押し撮影へ

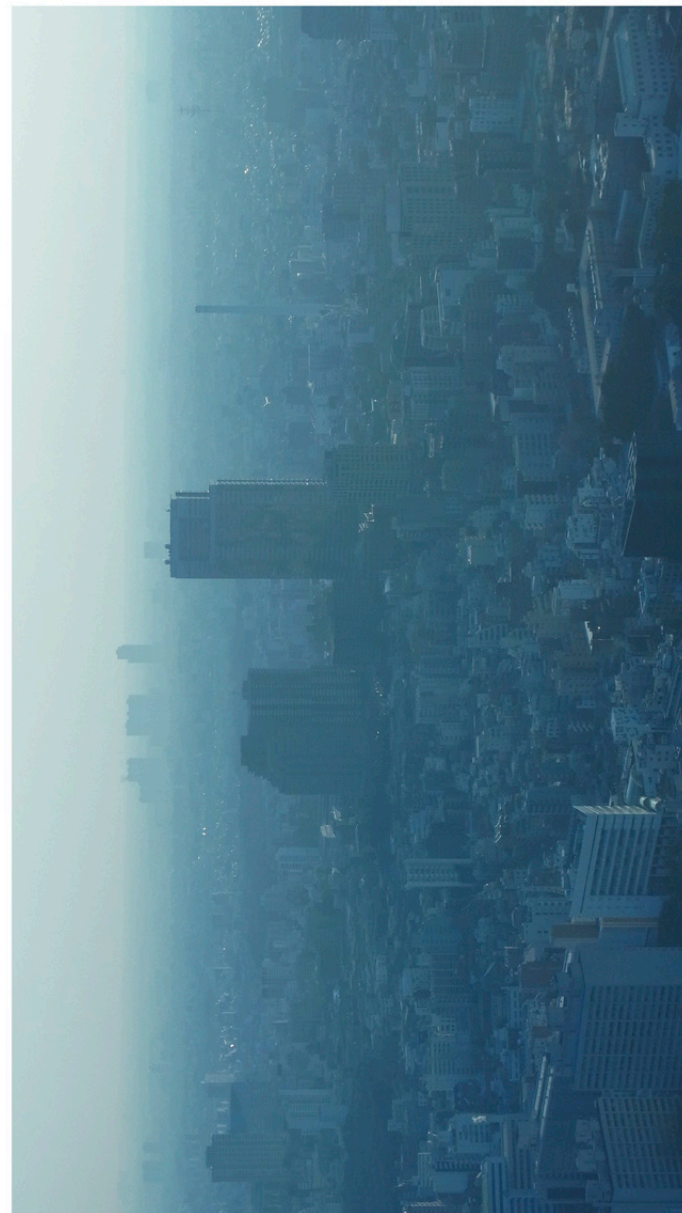




1:1



3:2 (フィルムカメラの比率)



16:9